

## 海事人材プロジェクトへの協力

～ 国立高等専門学校(商船学科)5校の教師を対象とした講演会・視察・調査への協力 ～

日本船主協会は、2008年7月に人材確保タスクフォース(TF)を設置し、優秀な日本人船員(海技者)確保のための様々な広報活動等を展開している。

活動に際しては、商船系教育機関(大学、高専、海事教育機構)との密な連携が重要であり、先生方に業界の現状等に関する理解を深めてもらうため、以下の通り講演会、意見交換、現地調査への協力を行った。



講演会の様子

当協会は、5高専の海事人材育成プロジェクトの一環として実施された「海運業、船舶業務に関する講演会(2月19日)」及び「船舶管理、港湾・物流業務現地調査(2月20日)」について協力を行い、同講演会及び視察調査には、5高専より18人の教師が参



加した。 左写真、開催の挨拶をする保坂常務理事

右写真、講演する田中海務部長



左より JX オーシャン清水船長、

川崎汽船斉藤機関長、事務局御姓課長(機関長)

2月19日の講演会では、田中海務部長から海運業の概要について、続いて御姓課長から船舶機関士の職掌および省エネに関する船社の取り組みについて講演を行い、その後、会員船社より現役の船長及び機関長を招いて5高専の教師との活発な質疑・意見交換が行われた。

2月20日には、商船三井のご協力の下、教育施設並びに技術研究所の視察を行った。教育施設では、同施設や自社研修についてのご説明に続き、機関・操船シミュレータの見学を行った。次の技術研究所では燃料油や潤滑油の研究、分析について環境保全の取り組みを交えご説明いただき、その後研究所内の見学を行った。高専の教員にとってはいずれも大変貴重な経験となった。

当協会としては、今後も教師から海運の現場・実務について学生に対して有効なフィードバックが図られるようにこうした機会の提供について引き続き対応していきたい。



教育施設の様子



シミュレータ見学の様子



技術研究所 見学の様子